学校番号	403

平成３１年度　公民科

教科	社会科	科目	現代社会	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「高等学校　改訂版　現代社会」(第一学習社)						
副教材等	「最新現代社会資料集」(第一学習社)						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、課題に対して、自ら考え、周りの人と協働で考える活動を行います。
・自ら調べて学んだ内容を他者に説明するといった活動をとることで知識･理解を深めます。
・授業で学んだ内容を自分なりに要約し、文章でまとめる作業を行ってもらいます。

２　学習の到達目標

人間の尊重と科学的な探究の精神に基づいて，広い視野に立って，現代の社会と人間についての理解を深めさせ，現代社会の基本的な問題について主体的に考察し公正に判断するとともに自ら人間としての在り方生き方について考察する力の基礎を養い，良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	現代社会の基本的問題と人間にかかわる事柄に対する関心を高め，意欲的に課題を追究するとともに，社会的事象を総合的に考えようとする態度と民主的・平和的なよりよい社会の実現に向けて参加，協力する態度を身に付け，現代社会に生きる人間としての在り方生き方について自覚を深めようとする。	現代社会の基本的問題と人間にかかわる事柄から課題を見いだし，社会的事象の本質や人間としての在り方生き方について広い視野に立って多面的・多角的に考察するとともに，社会の変化や様々な立場，考え方を踏まえ公正に判断し，その過程や結果を適切に表現する。	現代社会の基本的問題と人間にかかわる事柄に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し，有用な情報を主体的に選択し活用して学び方を身に付ける。	現代社会の基本的問題と人間としての在り方生き方にかかわる基本的な事柄や，学び方を理解し，その知識を身に付けている。
評価方法	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・小テスト ・ノート提出 ・定期考査	・発問評価 ・提出課題 ・小テスト ・ノート提出 ・定期考査 ・発表	・授業態度 ・提出課題 ・発表	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・小テスト ・定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	内容	単元	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
				a	b	c	d		
1	第1編　私たちの生きる社会		①地球環境問題 ②資源・エネルギー問題 ③科学技術の発達と生命倫理 ④高度情報社会と私たちの生活	○ ○ ○ ○	○ ○	 ○ 	 ○ ○	a:現代社会の諸問題に対する関心を高め，課題を意欲的に追究し，いかに生きるかを主体的に考えることの大切さを自覚している。 b:現代社会の諸問題について自己とのかかわりに着目して課題を見いだし，多面的・多角的に考察し，いかに生きるかについて社会の変化や様々な立場，考え方を踏まえ公正に判断している。 c:現代社会の諸問題に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し，学習に役立つ情報を主体的に選択して活用し，学び方の技能を身に付けるとともに，追究し考察した過程や結果を様々な方法で適切に表現している。 d:現代社会の諸問題の現状や問題点，本質及び学び方について理解し，その知識を身に付けている。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・小テスト ・ノート提出 ・定期考査 ・発表
	第2編　現代社会と人間としてのあり方生き方	第1章　現代に生きる青年	①青年期の意義と自己形成の課題 ②現代社会における青年の生き方 ③伝統や文化と私たちの生活	○ ○ 	○ ○ 	 ○	 ○ ○	a:人生の中で青年期はどのような意味をもつのか，青年期の心理の特徴について理解し，一人前の人間として自立するためには何をしたらよいかを考えている。 b:青年期の意義や青年期の心理について，それらがどのようなものかを理解し，自分自身の問題として考え，具体的事例をあげて多角的に考察している。 c：伝統や文化と自らの行動様式や考え方との関係について考察している。 d:なぜ生きがいを求めようとするのか，人生における職業の意味，社会活動の意義について考えている。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・小テスト ・ノート提出 ・定期考査 ・発表

		第2章　個人の尊重と法の支配	①民主政治における個人と国家 ②基本的人権と法の支配 ③世界のおもな政治体制	○ ○	○ ○	 ○ 	○ ○ ○	a:私たちの生活と政治や国家のかかわりについて関心を高めている。 b:世界のおもな政治体制について，真の民主政治の実現と関連させて考察する。 c:基本的人権が保障されるにいたった経緯を，さまざまな情報手段で資料を収集し，具体的事例をあげて考察し，理解する。 d:国家はどのような考え方を背景につくられたのかを理解している。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・小テスト ・ノート提出 ・定期考査 ・発表
		第3章　現代の民主政治と政治参加の意義	①日本国憲法の基本原理 ②平和主義と安全保障 ③基本的人権の保障と新しい人権	○ ○ ○	○ ○	 ○ 	○ ○ 	a:日本国憲法の成立過程や明治憲法との比較，天皇の地位の変化，日本国憲法の三つの基本原理について主体的に理解している。 b:自由権の意味や，社会権が私たちの生活をどのように変えたのか，新しい人権とは何かをさまざまな立場にたって考察している。 c:日本国憲法の平和主義の特色を理解するとともに，平和主義と日本の安全保障について，さまざまな情報手段を活用し，レポートをまとめている。 d:日本国憲法の平和主義の特色と自衛隊，日本の安全保障については，さまざまな立場からの意見があることを理解している。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・小テスト ・ノート提出 ・定期考査 ・発表
			④国民主権と議会制民主主義 ⑤内閣と行政の民主化 ⑥裁判所と人権保障	○ ○ 	○ 	○ ○ ○	 ○	a:国会の地位と構成・権限、議院内閣制のしくみ，内閣総理大臣の権限，行政の民主化について興味関心を持つ。 b:議院内閣制の意義と課題について考察している。 c:国会・内閣・裁判所の地位と構成について，インターネットなどの情報手段を活用して資料を収集し，レポートをまとめている。 d:議院内閣制のしくみ，裁判所の役割や裁判制度について，理解している。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・小テスト ・ノート提出 ・定期考査 ・発表

2			⑦地方自治と住民の福祉 ⑧世論形成と政治参加	○	○	 ○	○ ○	a:自身の生活する地域の地方自治について調べ、自治を身近に感じている。 b：地方自治に住民はどのような権利をもっているか，また，地方自治のもつ課題について，自分自身の問題として具体的に考察している。 c：政党の役割，選挙のしくみ，世論の形成について，さまざまな情報手段を活用して，調査している。 d：地方自治に住民はどのような権利をもっているか，地方自治のもつ課題について，自分自身の問題として理解し，その知識を身につけている。	
		第４章　国際政治の動向と日本の役割	①国家主権と国際法 ②国際連合の役割 ③今日の国際社会 ④核兵器の廃絶と国際平和 ⑤地域紛争と人種・民族問題	○ ○ ○	○ ○	 ○ ○ 	 ○ ○ ○ ○	a:第二次世界大戦後の国際社会と冷戦終結前後の国際社会の状況について，年表を使って整理し，理解している。 b:国際法の意義と役割や核兵器を廃絶するには何が必要かを考え，核兵器の開発・拡散の状況,廃絶するためのさまざまな取り組みについて，具体的事例をあげて多角的に考察し，理解している。 c:国際連合の役割と課題について，インターネットなどの情報手段を用いて調査し，それらをもとにレポートをまとめている。 d:勢力均衡と集団安全保障体制の違いや、なぜ人種や民族の違いにより争うのかをについて考え，国連の役割と課題、人種・民族紛争の実態，難民問題について理解している。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・小テスト ・ノート提出 ・定期考査 ・発表

			⑥国境と領土問題 ⑦外交政策と日本の役割	○ ○	 ○	○	○	a:国際社会の一員として何をすべきかを理解している。 b:国際社会における日本の役割や，国際社会の一員として私たちは何をすべきかを考えている。 c:国境と領土問題や日本の領土問題について，教科書の写真・地図を使用して理解している。 d:国境と領土問題，特に日本の領土問題についての知識を身につけている。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・小テスト ・ノート提出 ・定期考査 ・発表
		第5章　現代の経済社会と私たちの生活	①経済社会と経済体制 ②経済主体と企業の活動 ③市場経済のしくみ ④経済成長と景気変動	○ ○ ○	 ○ ○	 ○ ○	○ ○	a:経済の基本的なしくみと資本主義経済，社会主義経済の特徴を理解している。 b:経済成長は生活にどのような変化を与えるかを，具体的事例をあげて考察している。 c:企業がどのような活動をしているのか，株式会社の特徴について調査し，まとめている。国民所得について，教科書に掲載されている図版を適切に使用し，理解している。 d:企業・家計・政府はどのような活動をしているか，企業の社会的責任について理解している。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・小テスト ・ノート提出 ・定期考査 ・発表
			⑤政府の経済的役割と租税の意義 ⑥金融機関のはたらき ⑦戦後の日本経済の動き ⑧産業構造の変化	 ○ ○	○ ○ 	 ○ ○	 ○ ○	a:日本の高度経済成長やバブル経済の要因について，理解している。 b:財政政策の意義，日本の財政の課題を理解し，財政のしくみ，租税の意義と課題について，具体的に事例をあげて考察し，主体的に考えている。 c:技術革新の進展による生活の変化，産業構造の変化，経済のサービス化・ソフト化について，身近な問題と関連させて考察している。 d:資金の流れ，金融機関の役割，日本銀行の役割について理解している。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・小テスト ・ノート提出 ・定期考査 ・発表

			⑨雇用と労働問題 ⑩公害の防止と環境保全 ⑪消費者保護と契約 ⑫社会保障と国民福祉	 ○ 	○ ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○	a:日本の公害問題について理解し，公害問題と公害に対する国や企業の対応，公害を防止し環境を保全するための方策について考えている。 b:社会保障の意義を理解し，現代の社会保障の課題について考察している。 c:消費者問題，日本の社会保障について，さまざまな情報手段を活用して情報を収集し，調査した内容をまとめて発表したり，レポートを作成したりするなど，適切に表現している。 d:消費者主権とは何かについて考え，企業が消費者に負っている責任，消費者を保護するために国はどのような対策をとっているのかを理解する。労働者が憲法や法律で守られている理由を考え，雇用事情の変化と労働条件や労働環境を理解している。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・小テスト ・ノート提出 ・定期考査 ・発表
3		第6章　国際経済の動向と日本の役割	①国際経済のしくみと貿易の拡大 ②進む経済統合 ③国際経済の動向 ④発展途上国の経済と南北問題 ⑤国際協調と日本の役割	○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	○ 	○ ○ ○	a:国際協力のあり方，国際経済の中での日本の役割について自分自身の問題として考えている。 b:日本の貿易やアメリカ，アジアなどの貿易について理解し，貿易の拡大とそれにともなう貿易摩擦について，具体的事例をあげて考察している。 c:円高・円安のしくみについて，身近な事例をもとにレポートを作成するなど，適切に表現している。 d:地域的経済統合をはかる動きが見られることを理解しそれによって何がもたらせるかを理解する。貿易の意義，円高・円安の生じる理由，経済のグローバル化，発展途上国のかかえている問題について考えている。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・小テスト ・ノート提出 ・定期考査 ・発表

		第7章　現代に生きる倫理	①豊かな人生を求めて ②日本の伝統的なものの考え方 ③近代の西洋思想 ④現代に生きる人間の倫理	○ ○	 ○ ○ 	 ○ ○	○ ○ ○	a:差別を生み出す偏見について考え，それを克服して，ともに生きるために私たちは何をすべきか，自分自身の問題として考えている。 b:哲学や宗教の役割を理解するとともに，人生を豊かに生きるとはどういうことなのかを多角的に考察する。日本の伝統意識を理解し，生活の中での仏教や儒教，西洋思想の影響について，具体的事例をあげて考察している。 c:人間の尊厳や科学的なものの考え方，民主的社会を樹立するために必要な考え方の理解を深めるため，図版や原典資料を適切に使用している。 d:平等な社会の実現には，偏見を取りのぞき，主体的に努力することが求められていることを理解している。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・小テスト ・ノート提出 ・定期考査 ・発表
	第3編　ともに生きる社会をめざして		ケーススタディ① 税と社会 ケーススタディ② 東日本大震災後のエネルギー問題をめぐって ケーススタディ③ 人口問題と私たちの未来	 ○ 	 ○ ○	○ ○ ○ ○	○ 	a:東日本大震災の写真から社会に与えた影響に関心を持っている。 b:原子力発電所の再稼働をめぐる問題を通してエネルギー問題について考察したり，人口問題を通して私たちの未来を考察したりしている。 c:教科書に掲載されている図版や写真・資料などを適切に使用し，1枚の給与明細から税について考察している。 d:税制と社会の関連について理解している。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・小テスト ・ノート提出 ・定期考査 ・発表

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。